



人類に
奉仕する
ロータリー

年次クラブ総会

第 1202 回

2016年12月6日(火) 晴 第20回

～ 疾病予防と治療月間 ～

斉 唱 君が代、奉仕の理想
 出 席 会員 55 名 (出席率算入人数 47 名)
 出席 40 名 出席率 85.11%
 前々回補填率 75.00% (11月19日分)
 ゲスト 米山奨学生 楊 光心さん

12月の誕生日

19日 細井 俊男さん 20日 出田真太郎さん
 29日 中村 勝さん

配偶者誕生日

16日 水野千鶴子さん 18日 坂本ゆかりさん
 20日 下村 展子さん 21日 中村智恵子さん
 28日 吉木 素子さん 29日 三浦 由紀さん

12月の結婚記念日

3日 朝比美和子さん 4日 堀 敦さん

会長あいさつ

会長 木下 福郎さん

皆さま、こんばんは。私は名南 RC で英会話教室に入っております。台北ミレニアム RC と提携をした時に出来たのもう 10 年やっております。何が面白いかと言いますと、勿論英会話を勉強させていただくのもあるのですが、やはり外国人の考え方やもの見方というのが分かるので、非常に面白いと思っています。



今の先生は、アメリカ人でウエストバージニア出身のショーさんという若いイケメンの方です。先日、アメリカ大統領選挙の話の色々としてしまして、アメリカの大統領選挙というのは海外にいてもインターネットで投票できるそうです。ただ、

インターネットで投票する場合は、自分の個人番号を入力しなくてはならないので、だれに投票したのかが分かってしまってあまり面白くないと言っていました。

投票所へ行く場合は、日本のように名前を書くのではなく、全員の候補者の名前が印刷されている用紙で、丸を黒く塗るといのがアメリカの投票の仕方です。日本のようにフルネームを書く国というのは世界中ではないと言っていました。やはり、日本人には文盲の方がいないのでそういう事ができるのではないかと言われました。

ドナルド・トランプ氏が大統領候補になりましたが、私が先日読んでいたエマニュエル・トッドという方が書いた本に、イギリスが EU を離脱したブレグジット (Brexit: Britain (英国) と Exit (退出する) を組み合わせた造語) とトランプ氏が大統領候補になられたのは同じ原因だと書いてありました。それは何かと言いますと、グローバリゼーションの終わりだということ。グローバリゼーションというのは、1980年代頃のイギリスのサッチャー元首相とアメリカのレーガン元大統領が、盛んに旗を振って世界の地球化みたいな事をやろうと、お互いの国の関税を撤廃し、ビザの発給も緩和して、物の流通もやりやすくする事を始めました。最終的にはどうなったかと言うと、結局強い者が世界市場を手に入れたという事で、強いところは益々強くなって格差が広がったという事です。

結局、アメリカでも自動車会社を含めて人件費の安いメキシコなどに工場を建ててしまう、ドイツなどは海外移民を受け入れてしまうなどです。安い労働力で色んなものを作ったりして、ある意味世界中の安い物が手に入るようにはなったのですが、自分の会社が世界で一番強くないと、結局負け組となって仕事がなくなってしまう、収入もなくなってしまうなどが起こったという事です。これからどうなるのかと言うと、やはりナショナリズムに振れるのではないかという事で、その先にどういった形になるのかはまだ研究中であると書いてありました。

我々は仕事をしていて大きな変化というのはピンチでもあります。チャンスでもあると思います。我々としてはこれから世の中が変わっていく上で、いかにそれを上手くつかんで商売に活かすか、これからアイデアを出して考えていかなければならないと思います。その為にも RC で皆さまと色々と意見交換をして、またそういう情報を色々とつかんでいただいて、ご商売に上手く役立てていただければと思います。

幹事報告

幹事 細井 俊男さん

1. 出席免除の申請が中村勝さんから出ております。理事会にて承認されました。
2. 本日、3月24日（金）に行われるIMについての案内状を入れてあります。これは3月28日（火）の例会の変更分です。もし、ご欠席の場合にはメンバーシップが必要となります。
3. 11月のニコボックスについては、3回分でしたが157,000円でした。ありがとうございました。
4. 次回忘年家族例会の始まりは18時から16階のアゼリアですので、お間違えの無いよう宜しくお願い致します。

ニコボックス

- ◆ 米山奨学生 楊 光心さんの卓話です。よろしくお願い致します。

森田敏二三さん 中西 芳子さん 小嵐 招啓さん
坂田 信子さん 下村 徹嗣さん 牧野 好弘さん
久米 伸治さん 伊藤 圭一さん 有川 英敏さん
犬飼りさ枝さん 佐々木 暢さん 加藤 宜之さん
川辺 清次さん 長尾 浅吉さん 木下 福郎さん
木村 猛さん 三島多恵子さん 三浦 隆さん
安藤 修さん 川瀬 悟さん 田中 一雄さん
白藤 憲雄さん 日下智重子さん 高橋 司さん
中村 勝さん 坂本 晃さん 三浦 和人さん
細井 俊男さん 小野 雅之さん 大橋さなえさん
杉山 隆秀さん

- ◆ 先日のゴルフ部会遠征、鈴木部会長、木村幹事、安藤幹事、森田さん、お世話になりました。楽しかったです。 児島 徳和さん
- ◆ 初のゴルフ部会に参加させていただきありがとうございます。日下さん、優勝おめでとうございます。 筧 恵理さん

本日合計 52,000円 累計 923,500円

委員会報告

- 米山記念奨学委員会 副委員長 加藤 宜之さん
皆さま、こんばんは。米山奨学会本部から米山功労賞の賞状等が来ておりますので、会長からお渡し願います。

〈米山功労者表彰〉

坂田 信子さん（第3回マルチプル）
入谷 直行さん（第5回マルチプル）
三島多恵子さん（第5回マルチプル）
長尾 浅吉さん（第5回マルチプル）
大橋さなえさん（第5回マルチプル）
伊藤 圭一さん（第6回マルチプル）
佐々木元彦さん（第8回マルチプル）
三浦 隆さん（第10回メジャードナー）



- 親睦活動・家族委員会 委員長 安藤 修さん
来週に迫りました忘年家族会ですが、仮装につきましては全員ではない事と、また更衣室を設けてありますので最初から着替えていなくても大丈夫です。それから景品も多数用意してありますので、仮装される方は奮って参加してください。

もう1点、忘年家族会に参加される方の入金が遅れておりますので、皆さまご協力を宜しくお願い致します。

同好会報告

- ゴルフ部会 幹事 木村 猛さん
皆さま、こんばんは。11月24日（木）・25日（金）の遠征ゴルフでは皆さまお疲れさまでした。楽しい2日間でございました。これも皆さまのご協力のおかげと思っております。

部会の忘年会を計画しておりましたが、日程が合わないので1月25日（水）の新年会に変更させていただきます。場所は決まり次第ご連絡させていただきますので宜しくお願い致します。

年次クラブ総会

議長 会長 木下 福郎さん

- 2016-17 年度会計中間報告（11 月末日まで）

会計 加藤 宜之さん

会計の中間報告をさせていただきます。前期繰越金額及び入会金の収入、それから年会費の収入という事で、25,980,800円。支出の部分は12,550,708円で合計が繰越金と混ぜまして50,421,452円、集まった金額の実績が12,550,708円、残金が37,865,744円です。続きまして支出の部ですが、本部・地区の負担という事で、1,865,021円です。予定としては11月末までの実績額として1,046,729円、残金が818,292円です。

続きまして、クラブの活動を奉仕委員会、社会福祉委員会、職業奉仕委員会等の予算とし、7,285,000円、11月までの出費が2,074,490円、残金が5,210,510円です。クラブ運営費としまして、例会費・事務費それから借室料・通信費等を含めまして予算額は18,476,990円。11月までの実績金額としまして6,029,663円、残金が12,447,327円。

予備費・退職金積み立て等を総計し、予算額としまして50,421,452円、支出としまして9,150,882円、残金が41,270,570円となっております。

■ 2017-18 年度会長エレクト・副幹事選任の件

会長 木下 福郎さん

2017-2018年度の会長エレクトには朝比美和子さん、副幹事には安藤修さんが選任されました。皆さま、ご異議がなければ拍手でご賛同いただきたいと思います。

朝比美和子さん

皆さま、こんばんは。この度、特に重要なお役目を仰せつかりまして、ただただ驚いております。皆さまのご協力をいただき、何とかお役目を全うさせていただきたいと思っております。どうぞ皆さま、お力をお貸しいただきますよう宜しくお願い致します。

安藤 修さん

安藤でございます。この度ご指名をいただきました。至らぬところも多いと思っておりますけれども、精一杯頑張らせていただきますので、宜しくお願い致します。

■ 2017-18 年度役員・理事選任の件

◇ 2017 - 2018 年度役員・理事 構成表 ◇

役員	会長	入谷 直行さん
	副会長	鈴木 一博さん
	会長エレクト	朝比美和子さん
	直前会長	木下 福郎さん
	幹事	加藤 英敏さん
	会計	三島多恵子さん
	会場監督	細井 俊男さん
理事	副幹事	安藤 修さん
	クラブ奉仕委員長	鈴木 清詞さん
	職業奉仕委員長	伊藤 圭一さん
	社会奉仕委員長	山本 郁矢さん
	国際奉仕委員長	白藤 憲雄さん
	青少年奉仕委員長	中西 芳子さん
	親睦活動・家族委員長	江松 央統さん
	ロータリー財団委員長	犬飼りさ枝さん
	会場運営・プログラム委員長	本多 利郎さん
	会報・雑誌・広報委員長	川瀬 悟さん

米山奨学生卓話

楊 光心さん

皆さま、こんばんは。私は昨年の4月から皆さまに大変お世話になっている米山奨学生の楊光心と申します。今は名古屋市立大学の経済研究科の博士課程3年生です。昨年、一度卓話のチャンスをいただき、自分の故郷や経歴などをお話しました。本日はまた貴重な機会をいただきましたので、もう少し自分の事をお話しようかと思います。



まず簡単な自己紹介から始めたいと思います。私の名前は楊光心です。これは祖母からいただいた名前です。キリスト教で光っている心の意味があるそうです。1988年7月30日生まれです。出身地は中国黒竜江省伊春市で、恐らく中国で一番寒い所です。

ここはよく中国の赤松のふるさとと呼ばれています。私は中国のハルビン理工大学を卒業し、2009年

の10月に初めて日本に来ました。今年の10月でちょうど7年になります。この7年の中で、私はまず日本語学校へ行って日本語の勉強と院生の受験勉強をしました。その後、外国人研究生として名古屋市立大学の経済研究会に入り、2014年の3月に院生を卒業しました。同年の4月、引き続き同じ研究会の博士後期課程に入りました。来年4月に卒業見込みです。また博士2年生の時に、幸いにも米山奨学生になりました。

続いて、私の学校での研究内容を紹介したいと思います。まず簡単に修士論文の内容を説明します。私の修士のテーマは「中国におけるトヨタ生産方式」についての研究です。近年では中国企業の間でマネジメント全般、特に生産管理の方法に関する学習ブームが起こっています。その中に、特に日本の生産管理方式、つまり言い換えればトヨタ生産方式への関心がとても高いです。トヨタ生産方式を導入、又は学習する企業が増えてきました。しかし、成功した企業、又は長期的に持続している企業は非常に少ないです。その原因はどこにあるのか、どうすれば中国企業はトヨタ生産方式を順調に導入できるのかを基本的な問題意識として、文献研究とケース分析を行いました。

また事象調査では、トヨタ生産方式を導入し且つ成果を上げている企業に焦点を当ててこの会社の障害を乗り越えるいくつかのアプローチを解明しました。結論として、経営トップの営業と現場教育の重要性を強調しました。しかしこの研究は、企業内部の要素だけに注目したものでした。つまり、ミクロ的な研究です。しかし、中国は複雑な地理、歴史及び政治環境などの特有の状況を持っていて、これらの状況は企業の技術導入にかなり大きな影響を与えています。これらの要素を考えなくてはならないので、この問題意識を持って博士課程では2つの課題について研究が続いています。

まず博士課程の研究では、1つ目の課題は「中国における技術導入に関わるマクロ的な要因の特定」という課題です。この課題を中心として、中国の技術移転の歴史と現状、中国の直面している一番大きな技術移転課題、及び技術移転に関する研究のトレンドなどについて一連の文献研究を行いました。中国の社会的技術能力という資産に基づいて、マクロ的に中国における技術の消化吸収不全を政府・企業及び個人の3つの側面から分析してみると、この図のようになります。この3つの丸は3つのレベルを表し、お互いに影響を与えています。周知のとおり中国は共産党主党の社会主義国です。国と政府により頒布した技術移転に関する政策や法制などが技術移転の全体をコントロールしていることを考えれば、3つの側面のうち国・政府のレベルの要素が最も重要だと思います。技術の消化吸収不全の状況を改善しようとする場合、国・政府、それから企業、その後は個人の影響力の流れを踏まえて改善を行う必要がある事を、最後に強調したいと思います。これが私の1つ目の論文の内容です。

続いて私の研究は2つ目の課題に入りますが、先ほど言った要因の元で、中国企業が技術導入を成功させる為の要因の特定という課題について研究は続いています。これを研究する為、技術導入の際に上手く進んでいる企業は社会的技術能力が高く、社会

的技術能力の各要素が遅れているという仮説を立てて、企業を対象にケース研究を行っています。具体的には海外の技術を導入し、且つうまく進んでいる企業を対象として事象調査を行い、失敗又はうまくいっていない企業と比較する方法で、この仮説を検証しようと考えています。最近、これについて論文を進めています。中々難しいのですが、今の中国企業に参考となる論文に仕上げたいと思いますので、ずっと頑張っています。

先ほど自分の研究内容を簡単に紹介しましたが、実は私は日本に来てから勉強する事以外にも充実した毎日を過ごしています。勉強の面では日本語の勉強、自分の研究に関わる専門知識の勉強が優先ですが、それ以外にも華の教室で生け花を勉強し、土日に専門学校に通って資格の勉強をしています。博士になってからは中々仕事をすることがなくて、最近の2年間は本当にあまり仕事をしていませんが、以前家電量販店でトヨタ生産方式の研修センターでアルバイトをした経験がありました。この仕事で私の視野を広げ、日本の社会の事をよく認識でき、私の未来の発展に対して非常に貴重な経験でした。

そして、昨年9月に私は結婚をしました。よく周りの日本人の友達に「楊さん、料理はきちんとやっていますか?家事は大変でしょう?」と聞かれますが、現在の中国の若い夫婦は、ほとんど家事を分担しながら生活をしているので、旦那さんのおかげで、私は結婚をしても自分のやりたい事もやれています。

次に日本に来て感じた事を少しお話したいのですが、私はもう日本での生活に慣れたので、驚く事、あるいは日本と中国の違いをほとんど感じられなくなっているかもしれません。だから日本に来た時の事を思い出して、やっといくつかのポイントが整理できました。

まず日本に来て一番楽しいと感じた事は、入学試験に合格する事と、日本で認可をされる事です。これは外国人留学生として非常に大切な事ではないかと思っています。学校の先生の認可もそうですし、アルバイト先の先輩の認可もそうだと思います。日本人に認可される事は、日本の社会に慣れるかどうかの判断基準になると考えています。あと、私は旅行が大好きです。恥ずかしい話ですが、中国の地理より日本の地理を知っています。

そして驚いた事ですが、一番感じたのは日本の清潔感とゴミ箱がない事です。今年の8月に私の父が初めて日本に来ましたが、彼もずっとどうして日本にはゴミ箱がないのか、日本は綺麗だと言っていました。そして私はいつも日本の先進的な技術に驚かされます。自分の研究内容が技術に関係あるので、日本の工場見学が趣味の1つです。昨年の学友合同研修会に参加した事をきっかけに、アサヒビールの工場も見学させていただきました。日本の先進的な技術や設備などを見て、聞いて、いつも感動させられます。

そして、中国と日本の違いで最も感じた事が2つあります。1つは中国人と違って日本人はこだわりが多いと思います。好きな食べ物や好きなブランドなど、きちんと自分のルールを守っています。比較的中国人の場合は変化が多いです。どちらもいいところがあると思いますが、私は今、中国に帰国したら

「楊さんは日本人はいね。」と言われると思います。恐らく私はこだわる部分も多くなっているかもしれません。もう1つは、人間関係の面です。2つの国には人と人との付き合い、又は家族の間の形式は随分違うと感じています。日本人の友達と会った時に、どの位の親友でも距離感があります。でも中国では、親友だと言うと家族よりも親密さがあります。

私は米山奨学生として、来年の3月に卒業します。だから本日はRCでの最後の卓話になるかもしれません。最後にロータリーに対する考えをお話します。中国には面白い言い方があって、人間には3種類あります。男性・女性・女性博士です。これは冗談ですが、本当に博士の生活を体験したら、学者は孤独であると思います。その大変な博士という生活の中で、私を支えていただいたのはロータリーの米山奨学生になる事です。奨学金のおかげで研究に専念できました。私にとって米山奨学生になる事は、ただの金銭的な支援だけでなく、ここで沢山の友達ができたり、クラブの皆さまにお世話になったりと、まるで1つの家庭に入ったかのようです。また毎年選ばれる奨学生の学友や先輩達と会った時に、いつも自分の足りない部分、例えば英語力や論文を作成する能力などを発見する事ができ、自分はまだまだだなと感じています。これは今後の努力につながります。これらの理由で、ロータリー奨学会あるいはロータリーの皆さまにはいつも感謝をしながらRCとの縁を大事にしたいと思います。これらは米山の活動に参加した際に撮った写真なのですが、本当に沢山大切な思い出を作りました。これからも奨学生を卒業しても学友として奨学会で活躍したいと思っています。ありがとうございました。

第 1204 回例会 (1月10日) のご案内
新年ゆったり例会

■ 12 月度理事会 議事録 ■

報告者 三島多恵子さん

日時 2016 年 12 月 6 日(火) 17:30 ~

場所 名古屋マリオットアソシアホテル
51F『マーキュリー』

出席者 木下、朝比、木村、細井、坂本、
加藤(宜)、吉木、大橋、三島、三浦(和)、
川辺、三浦(隆)、安藤、佐々木
17名中14名参加

◎審議事項

一、出席免除申請の件 <幹事 細井 俊男さん>
中村 勝さん出席免除申請 → 承認

一、3/7 春の家族会行程の件
<親睦活動・家族委員長 安藤 修さん>
奈良大宮RC訪問は帰りが遅くなるため、午後出発
と決定

◎協議事項

一、外部講師選定に係わる件
<会長 木下 福郎さん>
2月28日までは確定、3月以降は候補者を出して
協議する

一、3/21 名古屋熱田 RAC 合同例会の件
<ローターアクト委員長 加藤 英敏さん>
開催場所はルーセントタワー 40F ワン&オンリー
決定
会費は一人 3,000 円、時間は 19 時から 2 時間と
する

◎報告事項

一、2/21 創立記念例会内容の件
<親睦活動・家族委員長 安藤 修さん>
創立記念例会は、あつた蓬莱軒本店にて開催、
芸奴・舞妓を 3 名ほどお願いをする

一、年次クラブ総会の件 <幹事 細井 俊男さん>
議題 1 加藤 宜之さんより発表していただく
議題 2 木下会長より発表
議題 3 副幹事代理、細井幹事より発表

一、中間会計報告の件 <会計 加藤 宜之さん>
特に 11 月末までは問題なし

一、1 月～3 月度プログラムの件
<会場運営・プログラム委員長 佐々木 暢さん>
3 月までは特に変更なし
3 月 14 日例会のみ卓話者未定

※ 1 月度理事会

1 月 24 日(火) 17:30 ~

名古屋マリオットアソシアホテル
17 F「パイン」